

大学経営協会 2020 新春講演会 「私立大学を巡る当面の課題」ご案内

2020 年 4 月から、大学無償化「高等教育の修学支援制度」がスタートするとともに、先の通常国会で改正された私立学校法が施行されます。

新たな修学支援制度には 97%を超える大学・短大が申請し、対象機関になりました。返還不要の給付奨学金も増額され、学生担当部局は忙しい年を迎えることとなります。

私立学校法の改正では、監事の牽制機能の強化、役員の職務や責任に関する規定の整備等が行われ、学校法人の寄附行為改正等の対応を求められます。また、多くの学校法人では、既に中期計画を策定していますが、大学を設置する学校法人では、認証評価の結果を踏まえた中期計画の策定が義務化されます。

今回の新春講演会では、こうした動向の中で私立大学を巡る当面の課題について、私学助成を中心として文部科学省私学部助成課長に講演を頂きます。また、どうすれば成果の上がる中期計画が策定・運用できるのか、調査を行われた東京大学の両角亜希子先生に講演を頂きます。

多くの会員、大学関係者のご出席をお待ちしております。

特定非営利活動法人大学経営協会

会 長 佐藤禎一

理事長 宮内義彦

日時・場所

- ◆日 時:2020 年 1 月 16 日 (木) 13:30~16:30 (受付開始 13 時~)
- ◆場 所:日本プレスセンタービル 10 階ホール(同封地図参照)

プログラム

◆ 講演等

①講演「私学助成と私学を巡る当面の課題」(13:35~14:35)

○ 文部科学省高等教育局私学部私学助成課長 井上睦子 氏

②講演「成果の上がる中期計画の策定・運用(仮題)」(15:20~16:30)

○ 東京大学 大学院教育学研究科 大学経営・政策コース 准教授 両角亜希子 氏

情報交換会(名刺交換等)

◆14:35~15:20

参加費

◆会員 無料 (非会員 1人当たり 5,000円)